

DURBAN ACCORD
ダーバン宣言

第5回 世界公園会議
2003年 9月8日 17日
南アフリカ、ダーバン

2003年9月16日 ダーバン

世界公園会議の参加者の皆さん

我々は、2003年9月8 - 17日に南アフリカのダーバンで開催された、第5回世界公園会議の参加者の知恵と思いが凝縮された、この「ダーバン宣言」と「ダーバン行動計画」を発表することができて、誇りに思います。この宣言は何年もの協議を経てつくられました。この機会に、これに関わったすべての人々のご協力と熱意に感謝申し上げます。

「ダーバン宣言」の協議は、1997年に西オーストラリアのアルバニーで始まり、IUCNの世界自然保護会議（2000年にヨルダンのアンマンで開催）のような数々の重要な国際的な行事や、世界中の各地において開かれる地域会議において続けられてきました。第5回世界公園会議において、この宣言は、さまざまな内容のワークショップや、公開された特別総会における活発な議論の議題でした。この最終宣言は、それら全ての努力の結果です。これは会議の包括的な文書であり、そしてこの会議から世界への根本的かつ重要なメッセージです。この宣言は、会議の科学的な概要というよりは、コミュニケーションのツールです。これによって、保護地域のための積極的な行動がもたらされることを意図しています。

「ダーバン宣言」と一緒に、別の文書として提供されたものは、「ダーバン行動計画」、「生物多様性条約へのメッセージ」、「世界公園会議のワークショップによる提案」です。「ダーバン行動計画」は世界公園会議参加者が宣言の実施のための戦略と活動として提案したアイデアを示したものです。「生物多様性条約へのメッセージ」の作成は、「ダーバン宣言」と密接に関係しています。「ダーバン宣言」と同様に、会議の間に膨大な量のインプットがなされ、全ての詳細なコメントの意味を汲み取る作業は大変なものでした。にも関わらず、我々は、このメッセージが会議の重要な問題を反映しており、2004年2月に予定されている生物多様性条約の第7回締約国会議への重要なインプットを提供するべきものであると確信しています。第5回会議の参加者はプログラムのワークショップを通じて調査された、重要な技術的問題に関する提言も数多く行いました。これらの「世界公園会議のワークショップによる提案」は、ワークショップの議論の際に持ち上がった、特定の問題に対してそれぞれの聴衆に適合するような、個々の提言として意図されています。

これらの会議の結果として得られたものはいずれも、政府、NGO、IUCN やそのメンバーを法的に縛るものではありませんが、参加者の力と、それらが作成されてきたプロセスによって、世界中の保護地域のための、積極的な行動を推進し、導き、影響を及ぼす強力なツールとして存続するでしょう。今回の会議の結果に対する大切な成果は、みなさんが出す結果です。我々は、今回の会議の結果が、保護地域の問題に関するみなさんのこれが

らの仕事に対して、意味があるものであることを願っています。そして、10 年後に再びお会いして、ダーバンでの成果を見ることを楽しみにしています。

デビット シェパード
世界公園会議 事務局長

ケントン ミラー
世界保護地域委員会委員長

人々と地球上の保護地域に対する我々の地球規模の誓約

私たち、第5回世界公園会議の参加者3000人は、保護地域を評価し、保護地域に関する懸念を表明し、保護地域に対する早急な行動を呼びかけます。私たちは、これらが、最も霊的、神秘的であり、種の生存や生態系にとって最も重要であり、食料、空気、水を守るために最も重要であり、気候を安定させるために最も本質的であり、文化遺産や自然遺産として最もユニークであり、したがって、人間による特別な配慮が与えられるべきものであると証言します。保護地域の恩恵が守られ、また公平に共有されるように、行動することを求めます。

私たちは

私たちは、資源管理者、科学者、公務員、産業界のリーダーの集まりです。大小の非政府組織や国際組織、草の根グループのリーダーも含んでいます。先住民や、遊牧民、地域コミュニティも含んでいます。老若男女、大都市出身から小さなコミュニティ出身まで、世界154カ国から集まりました。私たちは、世界の最も原生的な辺境の地における経験を共有します。私たちは世界の隅々から聞こえる人々の懸念する声を伝えます。

急速に変化する世界

私たちの周りにあるものは全てに、大きな変化をみることができます。気候変動、陸や海の景観の分断、侵入した外来種の分布拡大などです。増加する人口、グローバリゼーション、都市化、地方分権化、そして、食料や繊維、燃料、水の要求の増加などの変化も起こっています。生物多様性や文化の多様性が低下し、地球の生命維持に不可欠な役割をしている生態系も弱っています。生き延びるために毎日苦しむ30億人もの貧しい人々がいます。世界や地域のリーダーがあまりにも頻繁に変わり、また社会の要求が強すぎて、地球の生命維持システムを育むことができません。

保護地域に関する新たなパラダイム

この変化する世界の中で、私たちは、保護と開発に関する幅広い課題において、保護地域とその役割に対する新鮮で革新的なアプローチを必要としています。このアプローチによって、私たちの保護の主な目的が、関係する全ての人々の利益と一致しながら、持続し、高まることが要求されます。この意味で、保護、すなわち生命維持システムの持続と、持続可能な開発との間の共同作用が提案されています。私たちは、保護地域という方法が、この共同作用を効果的にまた経済的に行う最も重要な方法であると考えます。私たちは、保護地域が、境界を越えて（地図上の境界線を超え、また男女や世代、社会、国家の境界をも越えて）利益をもたらすものであると考えます。

保護地域を評価する理由

私たちは保護と持続的な利用を可能にする豊かさや知恵、知識を持つ、自然と文化の多様性の奇跡を評価します。

私たちは保護地域を、私たちが生物多様性を、そのもの本来の価値のために、また公共の利益や地域の生計の手段としての価値のために、守る場所として評価します。

私たちは保護地域を、生態系の財とサービスを提供する場所として、新鮮な水や魚を供給し、洪水を防ぐかけがいのない源として、また、気候変動に対する緩衝地として評価します。

私たちは保護地域を、急速でおそらく破壊的な生態系の変化に際しての、生物の避難場所として評価します。

私たちは保護地域を、貧困削減と経済発展に貢献するものとして、また生計手段を提供し、持続させるものとして、評価します。

私たちは保護地域を、人々が自分のルーツとつながり、文化や価値、知識の体系が世代をこえて受け継がれる特別な場所として評価します。

私たちは保護地域を、友情と平和を高めるものとして、また、国境をまたぐ公園の増加を共有する国家の共通の話題として評価します。

私たちは人類の歴史の中で、最も大きな土地利用の共同の約束 過去 20 年で 3 倍に増加した世界中の約 10 万の保護地域のシステム を評価します。

私たちは地域コミュニティ、先住民、政府、個人、ボランティア団体による保護の成功と、保護地域を自然、文化、精神の集まる場所にしようとする彼らの努力を評価します。

保護地域の懸念の理由

私たちは、まさに今、生物多様性が脅かされている、かけがえのない多くの地域がまだ保護されていないことについて、懸念を表明します。

私たちは、地域コミュニティや、遊牧民、先住民により長年にわたって守られてきた多くの地域が認識されず、保護や援助が得られていないことについて懸念を表明します。

私たちは、保護地域外の原生的で自然な地域が過去 20 年の間に半分にまで縮小し、また生物が大量の絶滅の危機にさらされていることについて、懸念を表明します。

私たちは、特に途上国や、海域において、地図上に記されているものの、実質的に保護されていない保護地域が数多くあることについて、懸念を表明します。

私たちは、陸域の 12% が保護地域であるのに対し、海域や海岸は 1% 以下の地域しか保護されておらず、生物多様性の高い地域や漁場が過剰な乱獲にさらされていることに対して、懸念を表明します。

私たちは、淡水の生態系 地球上の生物にとって、なくてはならない要素の天然の貯蓄源の大部分が保護されていないことについて、懸念を表明します。

私たちは、河川の流域、移動のための回廊、豊かな海流など、自然の命綱を無視して、荒廃した海の中の孤島のような保護地域がしばしばあることについて、懸念を表明します。

私たちは、開発計画が保護地域への配慮を欠いていることに対して、懸念を表明します。

私たちは、地元地域 特に貧困な地域 が保護地域に関わる費用をはらい、そこから世界中にもたらされる利益が認識されないでいることについて、懸念を表明します。

私たちは、保護のための財源が充実し、利用できるようになってきたものの、しばしば使いにくく、また時には、間違った使われ方をしていることについて、懸念を表明します。

私たちは、間違った補助金が、保護地域の中や周りで、過度な資源搾取を助長していることに対して、懸念を表明します。

私たちは、現存の保護地域は年間 250 億ドルの予算不足のため、保護地域体制の拡大に必要な追加資金が得られないことについて、懸念を表明します。

私たちは、多くの保護地域の専門家が、技術、知識、教育や、効果的で適応可能な実践モデルを得られにくい状況にあることについて懸念を表明します。

私たちは、新たな保護地域の問題に携わる能力が、若い世代には十分でないことについて、懸念を表明します。

私たちは、人間によって引き起こされる気候変動が、過去の成果を台無しにし、将来の努力も危険にさらすこと、および、まだ世界が温室効果ガスの削減をしっかりと行い始めていないことについて、懸念を表明します。

私たちは、チャンスがなくなってしまうこと、すなわち、もし私たちがいま行動しなければ、将来の世代に自然豊かで文化的な遺産を引き継ぐ最後のチャンスを失ってしまうかもしれないことに対して、懸念を表明します。

誓約と実行の呼びかけ

保護地域のかげがえのない役割を、国連ミレニアム開発宣言、ヨハネスブルグ・サミット実施計画、生物多様性条約、砂漠化防止条約、ラムサール条約、世界遺産条約やその他の世界条約の実施策の中にも含めるよう誓約することを求めます。

グローバリゼーションと貿易協定が、保護地域がその最も重要な目的を果たす妨げとならないことを確実にするよう誓約することを求めます。

アカウンタビリティや透明性のある保護地域の体制のために、政策、法律、組織的なフレームワークを確立させ、強化するよう誓約することを求めます。

生物多様性や、自然遺産、文化遺産の差し迫った危機に基づいて優先的に、世界的な保護地域体制の拡大と強化を行うよう誓約することを求めます。

地球上の自然秩序のかげがえのない要素を保護する際の、足りない部分を補うように、典型的な生態系、生息地、種を守るよう誓約することを求めます。

保護地域のネットワークの選択、デザイン、管理において、人為的原因によって引き起こされる気候変動の際の生存を保證できるように、回復力を含めるよう誓約することを求めます。

全ての開発に関する課題の中に、保護地域を含め、政府、コミュニティ、民間セクターから幅広く横断的なサポートが保証されるよう誓約することを求めます。

アフリカ保護地域イニシアチブ とアフリカ保護地域信託基金の実行にあたって、資金と技術資源の動員するよう誓約することを求めます。

採掘企業が、保護地域の守り手としての責任を果たすよう誓約することを求めます。

男性と女性両方の、権利と興味と熱意が結合した、人と保護地域のなくてはならない関係を誓約することを求めます。

地域コミュニティ、先住民、遊牧民が、保護地域の設定、宣言、管理に参加できるよう誓約することを求めます。

若い世代が、保護地域の将来について適当な方策を持っていると認められるように、彼らが、保護地域の管理に携わり、協力するよう誓約することを求めます。

保護地域から利益や、影響を受けている人々が、人間的な権利、社会的な権利を十分に尊重された上で、公正かつ平等で、適切な政策決定の場に参加できる機会が持てるよう誓約することを求めます。

貧困を決して悪化させず、緩和させるような保護地域管理を行うよう誓約することを求めます。

先住民や地域コミュニティと利益を共有するような保護地域管理を行うよう誓約することを求めます。

適応性があり、共同的であり、協力して管理を行う、保護地域管理の方法を革新するよう誓約することを求めます。

地域共同体が管理する保護地域を認識し、強化し、保護し、サポートするよう誓約することを求めます。

保護地域の体制を維持し、拡大するための十分な、資金的、施設の、物質的な資源をさらに提供するよう誓約することを求めます。

保護地域の、地域経済、国家経済、世界経済に与える重要性を認識し、また投資や、資金増加の動機となるように、保護地域の経済評価を行うよう誓約することを求めます。

生態系の財やサービスの管理への支払いに対する資金的な還流を安定的なものとなるように、革新的で多様な収入創出戦略を誓約することを求めます。

間違った補助金を、保護地域のメカニズムをサポートする方向に変えるよう誓約することを求めます。

最前線の情報提供や技術移転も含めて、保護地域管理者の能力を向上させるよう誓約することを求めます。

科学的視点、また伝統的視点にのっとり、保護地域の全ての知識体系を評価し、用いるよう誓約することを求めます。

保護地域のサポートの向上と拡大のために、コミュニケーションをとり、教育を行うよう誓約することを求めます。

私たちの誓い

開かれた対話を常に行うことへの努力を怠ると、私たちの最も強い誓いは果たされないことになるでしょう。このような対話は、尊重、信用、信頼の下で成功します。最後に、私たちは、理解と協力を容易にすることを誓います。私たちは、全ての関係者を取り込むことを誓います。人類の持続可能な未来は、自然との共生を心がけることによってもたらされるという私たちのビジョンを共有することを誓います。私たちは、保護地域を尊い遺産として将来の世代に引き継ぐことを誓います。